

## 1. インターバンク市場

先週のインターバンク市場は当座預金残高が130兆円台前半での推移となった。15日は積み最終日であったものの、年金定時払いにより大幅な資金余剰日となったことから、調達は0.06~0.065%が見られる程度にとどまり、終始落ち着いた展開となった。16日からは新しい積み期間に入ったものの、準備預金進捗率が大幅に進んでいることもあり、特段取り急ぐ動きは見られなかった。ビッドは概ね0.06~0.065%で、無担保コールO/N加重平均レートは概ね0.065%の推移となった。ターム物は大手行からの調達が見られた。固定金利方式の共通担保資金供給オペは、週間に3本オファーされた。16日には昨年実施された1年物オペ期日がスタート日となるオペがオファーされ、結果は期落ち分10,230億円に対して7,893億円の落札となり、まずまずの応札が見られた。

今週は21日にTB1Yの発行超過要因、24日に申告所得税揚げの発行要因があり、両日とも資金不足日となることが見込まれるものの、高水準の当座預金残高を背景に、取り急ぐような展開にはならないものとみられる。また、25日には3月の全国CPIが発表される。

## 2. オープン市場

先週の短国市場は、週初から足元金利が強含んでいたため動意に乏しい展開となった。14日に短国買入オペが通知されたものの、買入額が1兆5,000億円となったことから、平均・按分利回較差は共に+0.005%と小甘い結果。16日に実施された1Y物の入札は、WI取引で0.043~0.045%の出合いが見られる中、平均落札利回り0.0401%、按分落札利回り0.0431%とやや強めの決着。落札先の8割が不明であったことから、セカンダリーではショートカバーから0.025%の出合いも見られた。17日の3M物の入札は、WI取引で0.061%の出合いが見られる中、平均・按分利回り共に0.0595%の結果となった。その後はショートカバーから0.055~0.057%の出合いが見られた。18日の短国買入オペは2兆円でオファーされ、平均利回較差+0.004%、按分利回較差+0.003%と軟調なマーケットを反映した結果となった。

先週のCP市場は、鉄鋼・電機・石油業態などの特定銘柄による発行が中心で、件数も少なく6,000億円程度の発行(入札ベース)に止まった。足元金利が強含んでいたことを受け、最上格銘柄の発行レートが週半ばにかけて上昇する場面も見られたが、全般的には動意に乏しく横ばい圏での推移となった。a-1格以上の銘柄は0.08~0.095%の狭いレンジで推移している。17日に4,500億円でオファーされたCP等買入オペは平均落札利回り0.082%、按分落札利回り0.08%と前回比で平均・按分ともに上昇。買入対象銘柄にノンバンク業態が多く含まれていたことや、足元金利の上昇を受けたショートターム物の処分ニーズが反映された結果となった。

今週の短国アウトライト市場は、18日の短国買入オペ増額により需給に多少の改善が見られるものの、買い進む材料は乏しく、横ばい圏で慎重な展開が予想される。CP発行市場はGWを控え25日発行や30日発行などで発行額が膨らむことが予想されるものの、引き続き発行レートは横ばい圏での推移となろう。

## 3. 資金需給および国債等

銀行券は週間で11,900億円程度の発行超見通し。財政資金は、21日のTB1Y発行超過と24日の申告所得税揚げを中心に2兆1,300億円程度の揚げ超見通し。以上により、今週の資金需給(日銀調節を除く)は週間で3兆3,200億円程度の資金不足を予想する。国債・借入金(日銀償還は除く)の動きは次の通り。<21日>TB3M;償還56,400億円・発行57,000億円 / TB1Y;償還13,200億円・発行25,000億円 / 20Y発行12,000億円 / エネルギー対策借入;期日3,000億円・新規4,000億円 <22日>道路承継国債;償還1,500億円 <24日>交付税特会借入;期日10,500億円・新規10,500億円 / 流動性供給;発行4,000億円

2014年	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ	期日	新規実行	オペ合計	実質過不足
4/21 (月)	100	△ 18,300	△ 18,200	全店共通(固) CP買入	△ 2,100 △ 100	2,900	700	△ 17,500
4/22 (火)	△ 2,000	3,000	1,000	CP買入 短国買入 国債買入		4,500 20,000 5,700	30,200	31,200
4/23 (水)	△ 3,000	1,000	△ 2,000				0	△ 2,000
4/24 (木)	△ 4,000	△ 13,000	△ 17,000				0	△ 17,000
4/25 (金)	△ 3,000	6,000	3,000				0	3,000
週間合計	△ 11,900	△ 21,300	△ 33,200		△ 2,200	33,100	30,900	△ 2,300

(注) 上表の4/21は日銀予想、4/22以降は当社予想。

	国内主要経済指標	国債等入札予定	海外主要経済指標
4/21 (月)	3月の貿易統計 (財務省 8:50)		
4/22 (火)	2月の景気動向指数改訂状況 (内閣府 14:00)	流動性供給 4,000億円 4/24発行	3月の米中古住宅販売
4/23 (水)	国際預金保険協会 (IADI) アジア・太平洋地域委員会 (APRC) 国際コンファレンスにて中曾副総裁講演		3月の米新築一戸建て販売件数
4/24 (木)	3月の企業向けサービス価格指数 (日銀 8:50)	TB3M 57,000億円 4/28発行	3月の米耐久財新規受注
4/25 (金)	4月都区部・3月全国消費者物価指数 (CPI 総務省 8:30)	2Y 27,000億円 5/15発行	

4/24交付税借入 10,500億円 5/9借入

本資料の内容は、十分信頼し得る情報・データ等に基づいて作成しておりますが、内容の正確性については弊社がこれを保証するものではありません。掲載内容のタイトル・日時・地域等につきましては、お取引先様各位にて別途ご確認戴きますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。

金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。